

2018年5月7日

関係各位

野村ホールディングス株式会社
コード番号8604
東証・名証第一部

全日本女子バレーボールチームとのオフィシャルスポンサー契約締結と「Ball for All」プロジェクトの推進について

野村ホールディングス株式会社(代表執行役社長 グループCEO:永井浩二、以下「当社」)は、全日本女子バレーボールチームと2018年4月1日付でオフィシャルスポンサー契約を締結しました。

東京1964オリンピック競技大会で「東洋の魔女」として日本中を熱狂させた全日本女子バレーボールチームは、その後も愛され続け、2年後の東京2020オリンピック競技大会でも活躍が期待されています。「“今”以上の“未来”。」を目指して、グローバル金融の世界で挑戦を続ける当社は、中田久美監督のもと、世界への挑戦を続けている全日本女子バレーボールチームの姿勢に共感し、応援していくこととしました。

あわせて当社では、今回のスポンサー契約を機に、「Ball for Allプロジェクト」(以下「本プロジェクト」)を推進していきます。当社は2015年より、日本パラバレーボール協会のスペシャルトップパートナーとして、パラリンピック競技であるシットイングバレーボールを応援しています。

本プロジェクトは、2020年とその先に向けて、多様なバックグラウンドを持つ人々が一つのボールをつなぐ競技であるバレーボールの魅力を伝えるとともに、バレーボールを通じたダイバーシティの推進により、豊かな社会の実現を応援するプロジェクトです。

本プロジェクトを推進していくため、スペシャルアドバイザーとして、中田久美氏と、シットイングバレーボール女子日本代表監督で日本パラバレーボール協会代表理事の真野嘉久氏に就任いただくこととしました。今後両氏には、ダイバーシティや女性活躍推進における知見と経験を活かしたアドバイス提供をはじめ、講演会やシンポジウムの開催、イベント運営、競技体験会などご協力いただきます。

当社は引き続き、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会(以下「東京2020大会」)のゴールド証券パートナーとして、「日本の挑戦を、サポートするという誇り。」とのスローガンのもと、自己ベストを



目指すアスリート、企業、そして日本の挑戦を応援することで、東京2020大会に向けたムーブメントの醸成に貢献していきます。



2018年4月27日「Ball for All」プロジェクトキックオフミーティングにて撮影

【中田久美監督コメント】

この度、野村ホールディングス株式会社様に全日本女子バレーボールチームをサポートいただけるということで大変うれしく思います。また、「Ball for All」プロジェクトに参画できて非常に光栄です。私自身のこれまでの経験を生かし、バレーボールを通じて多くの人の間につながりを創出し、多様性理解の社会浸透に貢献したいと思います。東京2020大会を単なるひとつのスポーツイベントとして終わらせず、人のつながりというレガシーを残せるような活動を推進していきたいと考えています。

【真野嘉久監督コメント】

「Ball for All」プロジェクトに参画出来ることを大変うれしく光栄に思っています。1964年の東京大会から約50年経過しましたが、パラスポーツに対する理解や認知度はそれほど広がっていません。東京2020大会はあくまでも通過点であり、障がい者と健常者が垣根なく楽しめるシットティングバレーボールを普及、推進していくために、本プロジェクトの主旨に大いに賛同します。パラスポーツを世の中に根付かせることが自分の使命であり、一人でも多くの方にバレーボール同様、シットティングバレーボールを観戦し、応援していただけることを期待しています。

<公益財団法人 日本バレーボール協会>



<一般社団法人 日本パラバレーボール協会>



【中田久美監督 プロフィール】

史上最年少の 15 歳 1 ヶ月で全日本代表に選出されて以来、ロサンゼルス 1984 オリンピック競技大会では銅メダルを獲得、ソウル 1988・バルセロナ 1992 大会と 3 度のオリンピックに出場し、13 年間に渡って全日本チームの司令塔として活躍。2012 年より、Vプレミアリーグ「久光製薬スプリングス」の監督に就任。就任 1 年目から、女子チームで初となる 5 冠を達成。2017 年 5 月、全日本女子バレーボール監督に就任（女性では史上 2 人目）。「2020 年に伝説に残るようなチームにしたい」と東京 2020 オリンピックでのメダル獲得を目標とし、日本女子バレーボール復活に向けその手腕が期待される。



【真野嘉久監督プロフィール】

1965 年大阪府出身。1987 年東海大学体育学部卒業。中学から大学までバレーボール部でセッターとして活躍。1997 年にシットイングバレーボールに出会い、以後、同競技の普及と選手の育成に尽力。シドニー 2000・アテネ 2004 パラリンピック全日本男子監督、北京 2008 パラリンピック全日本女子監督などを歴任。現在は日本パラバレーボール協会代表理事と全日本女子チームの監督を兼任。東京 2020 パラリンピック競技大会ではメダル獲得を目指す。



以上